

平成 31 年度(令和元年度) 学校自己評価アンケート結果について

保護者

1. 回答者数・回収率 752 名 ・ 82.7%
2. 実施期間 令和元年 11 月下旬～ 12 月上旬
3. 評価の算出方法

1 よくあてはまる 2 ややあてはまる 3 あまりあてはまらない 4 全くあてはまらない の4 択で回答。
評価は、1, 2, 3, 4に比重 1, 0.5, -0.5, -1 を乗じて得た値の和で算出。

4. 集計結果分析

青色塗りつぶしの質問（質問番号 6, 15, 2）が上位3項目で、分類4 質問 15 の「部活動が活発である」の評価は年々評価が上がってきている。また、「文武両道をめざす」質問は、昨年度より評価が微増している（質問番号 16）。

橙色塗りつぶしの質問（質問番号 19, 13, 17）が昨年と同様に下位3項目で、このうち、質問番号 17「コミュニケーション能力の育成」は、年々評価を下げている。本校では、コミュニケーション能力の定義として、「傾聴力」、「発信力」など7つの能力要素からなる独自の定義を採用し、総合的な探究の時間をはじめとする各種教育活動の中で、7つの力の育成に取り組んでいるところである。生徒が各能力要素についてより意識的に取り組めるように努めていきたい。

この分類 10 質問 17 の「コミュニケーション能力育成」の他に、分類 3 質問 9 の「進路に関する情報」、分類 5 質問 13 の「家庭への連絡」、分類 11 質問 20 の「社会貢献活動」の計 4 項目は、生徒と保護者の評価を比較して、その差が 20 以上と大きく、いずれも保護者の評価が低かった。また、「進路に関する」項目として分類 3 質問 8 についても、次いで低かった。「総合的な探究の時間」の学習内容、進路便り、学年通信、生徒の社会貢献活動の状況等について、保護者への情報提供も不足していたものと考えられ、学校からの各種通信や We b, 保護者面談等の機会を活用して改善に努めたい。

59 名の方から、「進路情報の提供を」、「部活動計画の連絡が遅い」、「トイレを洋式に」、「制服の乱れ」など進路、部活動、施設、生徒指導など多岐にわたって御意見をいただいた。今後の改善に活かしていきたい。

生徒

1. 有効回答者数・回答率 894 名・ 98.3%
2. 実施期間 令和元年 11 月下旬
3. 評価算出方法 保護者のそれに同じ
4. 集計結果分析

青色塗りつぶしの質問（質問番号 18, 15, 23）が、上位3項目である。質問番号 11「学校生活についての指導方針」は、微増ではあるが上がってきている。

橙色塗りつぶしの質問（質問番号 22, 9, 21）が、下位3項目であり不変的な項目である。分類 2 の質問 9「授業の工夫・分かりやすく充実」は、昨年度と同じく「肯定的回答が 80% 以上」という目標を設定し取り組んできた。結果は昨年度とほぼ横ばいの 79% に留まった。ICTの効果的な活用や生徒の情報活用能力の育成、西高授業スタンダードを軸とした授業づくりなどを意識して取り組んでいきたい。分類 8 質問 21 の「校内美化」についても低迷を続けているため、学校全体の意識の高揚を進めながら、改善に取り組んでいきたい。

生徒の記述からは「トイレをきれいに」、「照明を付けて」、「活動場所や活動時間を確保して」、「スマホのルールの改善を」など、施設、部活動、校則などについて 97 名から意見があった。

御協力ありがとうございました。